

10月2日(木) 【ニューデリー2025 世界パラ陸上競技選手権大会 コメント】

◆男子 1500m決勝(T54 クラス・車いす)

岸澤 宏樹（日立ソリューションズ）9位

「結果だけを見ると微妙ですね。神戸世界パラと順位は同じ。レース展開的にポジション取りが変わり続けて落ち着ききれなかった。マルセル選手（スイス）の後ろについていくプランではあったが難しかった。ラスト1周はずっと自分の課題でもあり、スプリントの速い選手はいっぱいいるのでそこで勝負できる練習をしていかないといけないなと思った。次は800m、しっかり自分を出し切って決勝進出目指していきたい。」



◆男子 円盤投げ(F37 クラス・脳原性まひ) 決勝

新保 大和（アシックス） 銀メダル

「良かったというよりはホッとした感じ。（たくさんの所属先からの応援に）プレッシャーはあったが、無事にメダルを取れて良かった。この大会に来る1週間前に国内大会で日本記録を投げて調子は良かった。その分、インドに入ってから調子が落ちてしまった。5投目までは今シーズンからするとそれほど良くなくて、6投目はしっかりベスト記録を投げるつもりで投げました。（海外の）新しい選手も増えてきているので自分も負けられないなと思った。昔（高校生時代）は練習量が多かったが、社会人になってからテクニックの練習が多くなってきた。量より質を重視してきたことがメダルにつながったのかなと思う。次は金メダルを狙いたい」



◆男子 100m (T36 クラス・脳原性まひ) 予選

松本 武尊 (AC・KITA) 決勝進出

「もうちょっといけるかなと。思い残すことはないです。(途中で決勝進出を聞いて) スタートが海外の選手と離されるのでそこを改善できれば良いと思う。」



◆男子 400m (T13・視覚障がい) 予選

福永 凌太 (日本体育大学) 決勝進出

「(競技前の雷雨で中断し競技時間の大幅な遅れ) 走る準備はできていたが、雨の時にスタートを切らなくて良かった。今日は本当は 48 秒出して決勝に臨むプランであった。タイムもそうですが、内容的に同じ 49 秒としてもうまくまとめられる様な走りをした」



◆女子 1500 (T20・知的) 決勝

藤原 由奈（愛アスリートクラブ）7 位

「世界の選手はやはり速いなと思いました。スタート少し遅れたのですが全然追いつかなかった。少し悔しい気持ちはあります。もう少し前との差を詰めないといけなかった。来年はアジアパラの出場権をを得られたらと思います。」

岡野 華子（ニッセイ同和損保）5 位

「神戸世界パラ出場して 2 回目の世界選手権出場となりましたが、まだまだ比べ物にならないほど海外選手のレベルが上がっていて、自分もレベルを上げたつもりでもまだまだメダルにすら届かない。負けずに頑張りたい。」

